

人口減少による負の影響のイメージ(参考例)			主要因の想定
大分類	中分類	主な具体の現象	
市民生活	生活環境	消防団や自主防災組織など、いざと言う時に地域の防災組織が機能しなくなる。	実働可能な生産年齢人口の減少
		空き地や空き家が増え不審火・不審者など地域の治安が悪化する。	総人口の減少
		町会・自治会活動など身近な自治活動を維持できなくなる。	高齢者の増加
	健康福祉	子育て支援施設の維持が困難になり、居住地の近隣で子育てサービスを受けられなくなる。	少子化、子育て世代の転出
		高齢者一人ひとりのニーズに対応した福祉サービスを提供できなくなる。	高齢化率の向上
	教育文化	学校の統廃合が進み、小中学校が地域の拠点として機能しなくなる。	少子化、子育て世代の転出
		郷土芸能や地域文化の継承者が少なくなり途絶えてしまう。	高齢化率の向上
地域経済	経済	後継者や人手不足により漁業権の未継承、耕作放棄地や放置林などが増加してしまう。	実働可能な生産年齢人口の減少
		小売店の撤退などにより生活の利便性が低下してしまう。	総人口の減少
		人手不足により生産力が確保できず、工場や事業所の廃止などに追い込まれてしまう。	実働可能な生産年齢人口の減少
	雇用	求人ニーズと求職ニーズとが一致せず、雇用はあるが働けない人が多く発生する。	実働可能な生産年齢人口の減少
行財政	経営	幅広い行政サービスの提供ができず、かつ選択と集中もできず総ての階層から満足を得られなくなる。	少子化、高齢化率の向上
	基盤	需要に見合った施設サービスを提供できず空間利用の不均等が発生する。	少子化、高齢化率の向上